

協力隊インタビュー
(松裏隊員：2年目)

1. 協力隊について
① 協力隊になろうと思ったきっかけは？
将来的に起業したいと考えた時に、地域おこし協力隊という制度が起業へのステップとして自分に最も合っていると思ったからです。それまで企業勤務だったので、起業して一人で仕事をするにはハードルの高さを感じていました。また、移住で環境を変えて新しいことに挑戦できること、都会では希薄になっていた、地域の方々と交流しながら活動ができることに魅力的に感じたので、協力隊になりたいと思いました。
② 現在どんな活動をしているの？
横山地区と八幡地区のまちづくり協議会のサポートをしています。具体的には、日々の活動（サロンや会議、環境整備など）のお手伝いや、イベント時のチラシ作成・企画・運営のサポート、ホームページやSNSによる情報発信などです。また、まちづくり協議会でやっている小学校の「放課後チャレンジ教室」にも参加し、子どもたちの見守りをしています。
③ 活動中のやりがいを教えて！
私が活動において感じているやりがいは二つあります。 まず一つ目はまちづくり協議会のサポートを通して、自分の知識や経験が増えていくことです。地域の伝統行事（おせったいやどんど焼きなど）に参加し、伝統行事を知り情報発信することは、自分の新しい知識となる上に、より多くの人に伝統行事を知ってもらえます。それが伝統行事の継承にも繋がっていくと考えています。また、ホームページの更新やチラシ作成などを通してWEBデザイン技術の向上を実感しています。 二つ目は、人との関わりです。協力隊の活動を通して関わる人は協議会の方、地区の方々、市役所の方々と多岐に渡ります。多くの分野の方と関わることで、将来の起業への可能性も広がるのではないかと思います。また、チャレンジ教室の中では子どもたちから学ぶことも多く、子どもたちの成長を見守れることがとても嬉しく感じています。
④ 活動中に困ること、大変なことはある？
協議会のサポートが仕事なので、協議会の方々と折り返いをつけながら仕事することは少し難しい面でもあります。これはどの仕事にも共通することですが、協議会の方針もあるので、協議会の方々の意見を聞き、その意見に沿う形で活動を進めていく必要があると思います。

⑤ 任期後の展望は？
<p>任期後はWEB制作など、WEB関連の仕事で起業をしたいと考えています。宇佐市にはまだホームページを利用していなかったり、運営が難しかったりする個人経営の方が多いので、そういった方の手助けになる仕事ができれば良いと思っています。</p>
⑥ 副業はどんなことをしている？
<p>宇佐市外国人総合相談センターで、宇佐市に住む外国人を支援する仕事をしています。</p>
⑦ 宇佐市の協力隊に求められる能力は？
<p>コミュニケーション力だと思います。宇佐市の協力隊は、協議会と共に活動をするので地区の方を中心に非常に多くの人々と関わります。協議会の方たちと交流が深まってくると、頼まれることも増えてきます。また、協議会の方の中には高齢の方も多いのでパソコンやスマートフォンなどの操作を助けてあげると喜ばれます。もし企画提案力があれば、新しい協議会活動へ繋げることができると思います。</p>
⑧ 協力隊になる前の経歴は？
<p>生活協同組合の配達ドライバーや営業を経験したのち、酪農組合の事務などを経験しました。</p>
2. 宇佐市について
① なぜ宇佐市を選んだの？
<p>宇佐市を初めて知ったのが、東京ビックサイトで行われた移住フェアです。その際に地域おこし協力隊を募集していることも知り、応募に至りました。また、宇佐市はぶどうが特産品で、安心院（あじむ）ワインで名前を知っていたことも、宇佐市を選んだ後押しとなったと思います。</p>
② 宇佐市の住み心地は？
<p>宇佐市の中心部は、スーパーやドラッグストア、ホームセンターなどが揃っているので、買い物には困りません。また、隣の中津市や別府市が栄えているのでそこまで買い物に行くこともあります。</p> <p>私が住んでいるのは中心部から車で30分ほどの距離ですが、田舎ならではの良さを感じる場所です。緑が多いので夏は涼しく心地がよいです。虫も多いですが、一年も住むと慣れてきました。</p>
③ 家賃の補助など現在の住環境は？
<p>現在市営住宅に住んでいます。家賃補助の範囲内なので家賃の支払いがなく経済的に</p>

とても助かっています。築年数は経っていますが、広さがあるので住み心地は十分だと思います。

家の裏側では蛍が見れますし、夜は星がとても綺麗です。たまにムカデやヤモリが家の中に出ます。特にムカデは怖いので、隙間を塞ぐなどして対策をしています。

④ 移住前と移住後のギャップはあった？

今は慣れましたが、移住直後に大変だったことがいくつかあります。まず、電波が繋がらない地域もあることです。私が住んだ地域はソフトバンクの電波が入らず、当初はとても困りました。また、電波が入らないのでコンセント式のWi-Fiが使えなくなってしまい、違約金を支払って解約したのが痛かったです。また、テレビは地元テレビ局の放送受信のみなので、テレビをよく見る方は別途契約が必要になると思います。あとはペットボトルや瓶の収集が月1回なこと、地域によっては水道が通っていない地域もあるので、事前に確認をした方が良いでしょう。

⑤ 宇佐市で生活する上で車は必要？

必要です！中心部では車がなくても何とか生活はできますが、行動範囲がかなり制限されます。中心部から駅は遠いですし、バスの本数は少ないです。私も移住当初はマンスリーレンタカーを借りて、落ち着いてから車を購入しました。

3. 未来の協力隊員にメッセージを！

宇佐市の地域おこし協力隊の仕事は、起業を考えている方にも、考えているけど具体的には決まっていない方にも、起業のための第一歩としてはとても良い制度だと思います。また、多様な出会いの中で自分を見つけられる良い機会になります。生活の多少の不便さもありますが、田舎暮らしを考えている方からすれば既に承知の上だと思います。宇佐市にはまだまだ魅力がたくさんあるので、協力隊活動を通して一緒に宇佐市を盛り上げていきましょう！